

指定校番号	30009	学級活動	<input type="radio"/> 児童会活動	クラブ活動	学校行事
-------	-------	------	-----------------------------	-------	------

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立大野東小学校	校長	光廣 敏樹	生徒指導主事	前田 真一
-----	-------------	----	-------	--------	-------

**取組事例名** 『縦班活動（縦班集会の活動を通して）』

**取組における育てたい資質・能力**

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「思いやり・関わり合い」	1	「主体性・創造性」	3	「感謝・認め合い」	2

**取組のねらい**『キーワード 異年齢集団の繋がり』

掃除や遊びを中心とした活動を異年齢集団で行い、日常的に関わりの場をもつことで、「思いやりの気持ち」や「導き合おうとする態度」を養う。

**取組の具体的内容**『キーワード 肯定的評価活動と自治』

- ① 日常の清掃活動を、縦割り班ごとに役割を分担し、協力して行う。また、活動後に肯定的評価でお互いを認め合う。
- ② 5・6年生が企画・運営の中心となって1年生から6年生までが楽しむことのできる遊びを計画し、1ヶ月に一度、「縦班集会」として行う。また、活動後に相互評価を行い、言葉を送りあう。



日々の清掃活動

**取組の課題・創意工夫**『キーワード 関わり合い・リーダーの継承』

- ① 1～6年生で10人ずつの班を作り、校内の清掃を分担して行う。6年生の班長を中心に役割分担し、お互いに教え合ったり、助け合ったりしながら掃除を行う。掃除の後に、各班で振り返りを行い、頑張った児童をMVPとして週ごとに選出し、讃えあう。
- ② 児童数約800人で80班という多くの班が同時に活動できるように、「縦班集会」の場所を組集団別に運動場・体育館・教室の3箇所に分けてローテーションさせる。また天候も考慮し、屋外・室内と2通りの計画を立て、準備物も用意する。立案の時間は、代表委員会と重複させ、全ての班の5・6年生が班長、副班長として集まって、班の実態を考慮しながら話し合いを進めている。

**取組の成果（効果）**『キーワード 思いやり・認め合い』

- ① 班の中で自分の役割をやりきろうとする児童が多い。上級生が掃除の仕方を教えたり、助け合ったりする中で、下級生は上級生に対して尊敬の気持ちを持ち、上級生は下級生に対して思いやりを持ったりして、つながりが深いものとなっている。
- ② 上級生が立案の段階で低学年でも楽しめるように、遊びの内容を考えたり、新しいルールを作ったりしている。また、下級生も活動の後に、感謝のメッセージを送るなどして、お互いを思いやり、認め合う気持ちが育っている。それらの気持ちが、日常の掃除時間や休憩時間に関わる際に、お互いのことを考えた関わり方に大きく役立っている。この活動を通して、児童自身が「成長した」「身に付いた」と感じている力は次の通りである。

○児童へのアンケート結果より（複数回答）		
人を思いやる心…50.8%	協調する心…43.5%	物事を創造・計画する力…48%
責任感…54.4%	リーダー性…45.6%	広い視野で物事を見る力…44%



外での活動の様子



教室での活動の様子

活動後にお互いへの思いを表した  
「ありがとうの木」



### 今後の展開『キーワード 横へのつながり』

学年を超えた縦のつながりができつつある中、今後は複数班や学年間による活動等、横のつながりを目指した活動を仕組んでいきたい。また、日常的な関わりが掃除時間に限られているので、学校行事や児童会行事で縦班を使った活動も取り入れ、かかわりの機会を増やしていきたい。来年度は学年間の学級数が異なることから、班編成の段階から学級を越えた柔軟な班作りが必要となってくる。

### 他教科との関わり『キーワード 適切な言葉の使用（国語）』

活動中や活動後の評価の中で、様々な言葉が児童の間で交わされる。相手の気持ちを思いやって適切な言葉をかけるために、豊かな語彙が必要となってくる。そのために、言葉の力を高めていく取組みを、国語科の授業の中で辞書を多用したり、作文活動を多く取り入れたりして行っている。